

HostsSwitcher Version 0.9.0

利用の手引き

2006/1/1

岩永 昌寛

npdog@kit.hi-ho.ne.jp

1. HostsSwitcher について

HostsSwitcher は、Web系アプリケーション開発環境など、Hostsファイルの書き換えによってホスト名とIPアドレスとのマッピングを切り替える必要が生じる環境において、その書き換えをグラフィックユーザーインターフェース(GUI)もしくはコマンドライン(CUI)で実現するためのソフトウェアです。

2. 動作環境

Java(TM) 1.4.0 以上が導入されている環境であればOSを問わず実行できます。
ただし、Hostsファイルの書き換え権限のあるユーザーで実行する必要があります。

こちらでは以下の環境で動作確認を取っています。

[GUIモード]

- 1) Windows 2000 Professional Edition Service Pack 4
Java 2 Runtime Environment 1.5.0
- 2) Windows XP Professional Edition Service Pack 1
Java 2 Runtime Environment 1.4
- 3) Red Hat Linux 9.0

3. インストール方法

hostsSwitcher.jar を適当なディレクトリーにコピーしてお使いください。

4. アンインストール方法

コピーした、hostsSwitcher.jar を削除し、ユーザーのホームディレクトリー(※1)内に
hostsswitcher.properties ファイルがある場合は、そのファイルも削除してください。

※1 通常ホームディレクトリーは以下のようにになります。詳しくはオペレーティングシステムの説明
を参照してください

Windows 2000/XP: C:¥Documents and Settings¥<ユーザー名>

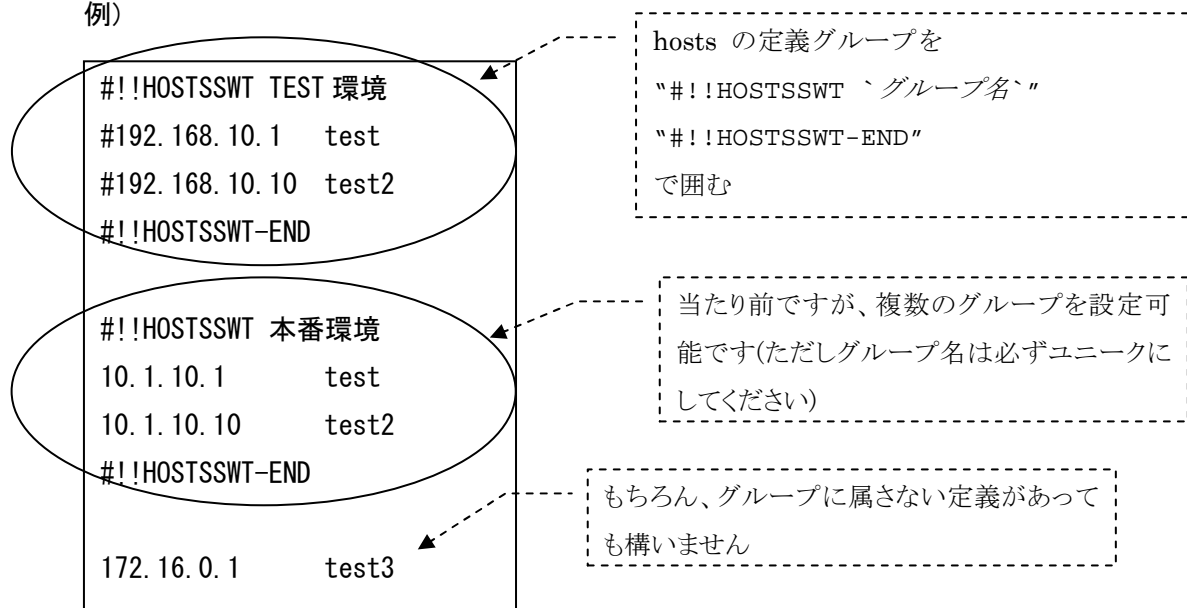
UNIX/Linux: /home/<ユーザー名>

5. hosts ファイルの準備

以下書式に従ってhostsファイルの設定を行ってください。

- グループの最初は“#!/HOSTSSWT `グループ名`”から始める
- グループの最後は“#!/HOSTSSWT-END”で終わる

例)



6. 使用方法 - グラフィックモード

※ 必須ではありませんが、あらかじめ java コマンドにパスが通るように環境の設定を行ってください。手順はパスが通っていることを前提にしています。

※ 必ずあらかじめ hosts ファイルのバックアップを取っておくようにしてください。

6.1 起動

hostsSwitcher.jar を以下コマンドで実行してください。

```
# java -jar hostsSwitcher.jar
```

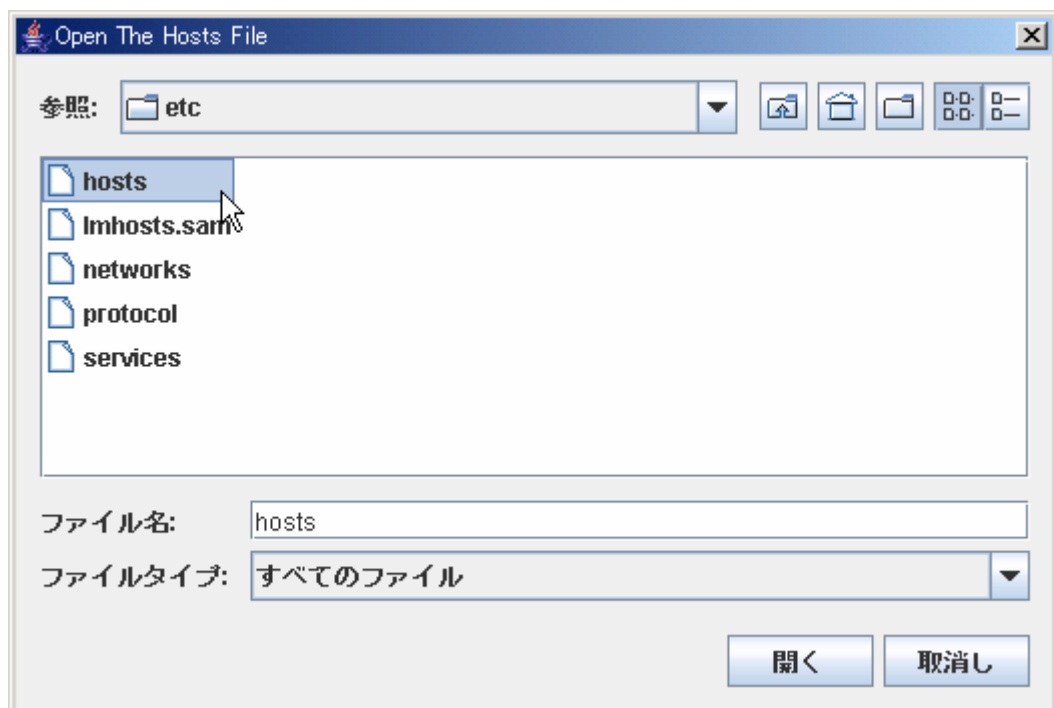
(Windows等で、jar 拡張子が実行可能ファイルとして設定されている場合は、hostsSwitcher.jar ファイルをダブルクリックすることにより直接実行できます)

6.2 hosts ファイルの指定

下図のようなダイアログが表示されますので hosts ファイルを指定してください。

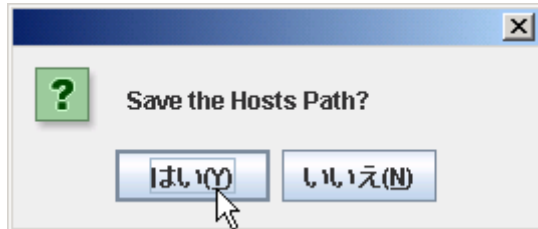
例) Windows XP → C:\windows\system32\drivers\etc\hosts

Unix/Linux → /etc/hosts



6.3 パスを保管するかどうかを設定

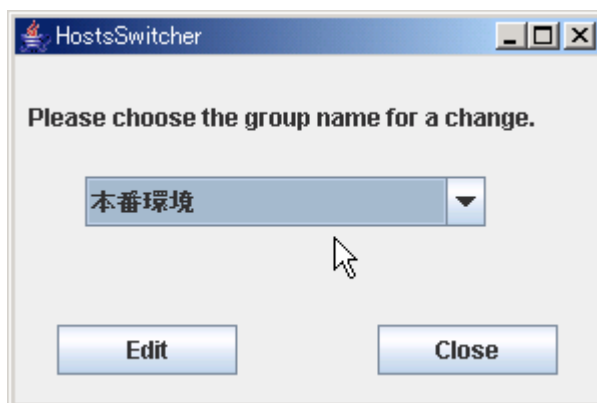
下図のようなダイアログが表示されますので hosts ファイルのパスを保管する場合は、「はい」を、毎回設定する場合は「いいえ」を選択してください。



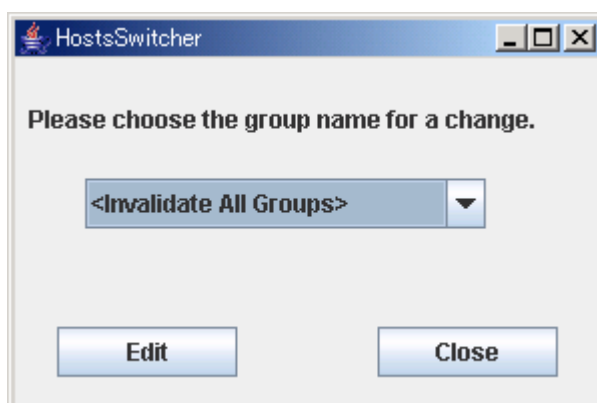
※ 1 「はい」を選択した場合は、ホームディレクトリー以下に、hostsswitcher.properties というファイルが生成されます。

6.4 切り替えの実施

下記画面のプルダウンメニューより、hosts ファイル上で定義したグループ名を選択し、「Edit」ボタンを押せば、選択したグループがアクティブ(非コメント行)となり、その他グループがコメントアウトされます。



また、「<Invalidate All Groups>」を選択し「Edit」ボタンを押せば、すべてのグループ定義がコメントアウトされます。



7. 使用方法 - コマンドラインインターフェース

※ 必須ではありませんが、あらかじめ java コマンドにパスが通るように環境の設定を行ってください。手順はパスが通っていることを前提にしています。

※ 必ずあらかじめ hosts ファイルのバックアップを取っておくようにしてください。

7.1 設定プロパティファイルの準備

以下書式に従い、プロパティファイルを準備してください。書式に関してのルールは、Javaのプロパティファイルのルールに準拠する必要がありますので、値にダブルバイトの文字などが入る場合は、native2asciiコマンド等でUnicodeに変換するようにしてください。

例)

```
#Hosts Switcher Configuration Properties
#Sun Jan 01 19:11:07 JST 2006
hosts.path=C¥:¥¥WINNT¥¥system32¥¥drivers¥¥etc¥¥hosts
```

キー名: hosts.path (固定)

値: hosts ファイルまでのフルパス

7.2 起動

hostsSwitcher.jar を以下コマンドで実行してください。

```
# java -jar hostsSwitcher.jar -nogui グループ名 [-prop "設定プロパティパス"]
```

■ オプションの説明

-nogui グループ名 (必須)

： コマンドライン・オプション引数"-nogui"に続いて、有効にしたいグループ名を指定

-prop 設定プロパティ "hostsswitcher.properties"までのパス

： コマンドライン・オプション引数"-prop"に続いて、設定ファイル設定プロパティファイルまでのパスを指定してください。

指定しない場合は、ホームディレクトリ内の hostsswtcher.properties を読みに行きます。

8. 使用上の注意点

HostsSwitcherを複数起動した場合に、hostsファイルへのアクセスを排他制御する仕組みは実装されていません(将来的には実装する予定です)。

9. ライセンス

HostsSwitcherはフリーソフトウェアです。

ソースコードはjarファイル内に添付していますので自由に変更・リコンパイルしても構いません。変更・リコンパイル後に再配布を行う場合は、岩永昌寛(npdog@kit.hi-ho.ne.jp)まで連絡してください(原則、再配布を妨げることはありません)。

また、改変を伴わない再配布は自由して頂いても結構です。ただし、雑誌・CD-ROM等への掲載など不特定多数への再配布する場合はご連絡ください(単にその事実を知りたいためです)。

このソフトウェアのインストール、実行による被害等は一切責任を持てません。

バージョンアップ、バグフィックス等の要望があれば遠慮なくメールください。

10. 改訂履歴

2006/01/01 V0.9 初期リリース